

岸本さん(うるま) 内閣府表彰



「エイジレス・ライフ実践者」に選ばれた岸本百合子さん(前列中央) 21日、うるま市役所

エイジレス・ライフ実践 植栽で地域の輪広げる



【うるま】内閣府が地域で活躍する高齢者を選出する「エイジレス・ライフ実践者」に、うるま市石川東山区で花の植栽に取り組む「イッペー会」事務局の岸本百合子さん(68)と同区Ⅱが選ばれた。県内で8人目。21日に同市役所で伝達式が開かれ、県高齢者福祉介護課の稲嶺ミユキ課長から岸本さんに書状と盾が手渡された。

岸本さんは名護市出身で1990年から東山に住んでいる。市道沿いに草が生い茂っているのを見て、「イッペーチュラクサチヤ(本当にきれいにしよう)」と94年に地元住民で「イッペー会」を結成。イッペーやサクラなどを植え始めた。次第に地元企業から肥料や水の提供を受けるなど協力の輪が広がっていった。広場も整備し、新興住宅地のため集会所がない同区の憩いの場になっている。

ことしの台風で植えた花も被害を受けたが、岸本さんは「自然のことなので仕方ない。そのたびに植えて楽しくやっているとたくましく笑う。「みんなが集い顔見知りになるのが目的。今後も地域の森づくりに頑張りたい」と意気込んだ。

意気込んだ。